



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
クラブ 委員：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1488回例会

～ロータリー理解推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年1月13日(木) 晴 第25回

司 会：大嶽達郎会場副委員長
斉 唱：「我等の生業」「四つのテスト」
ビ ジ タ ー：名古屋和合RC 宮下幸二郎さん

副会長挨拶

平野哲始郎副会長

皆さんこんにちは。菅総理も「一に雇用、二に雇用」というように昨今の就職活動は非常に難航しているようです。正社員は1年365日の内、働くのは250日程度、それに加えて有給休暇、年次昇給、ボーナスがあったりと、優遇されすぎているのではないかとつくづく感じます。そこへいくと派遣社員やパートはGW・夏休み・冬休みに人件費はかからない、昇給も必要ない、ボーナスもない、と我々経営者側からいうと非常に便利な存在です。そのためどうしても派遣社員やパートに頼ってしまうこの頃です。



大学を出てから大きな会社の正社員ばかりを目指していると就職難に直面して困ってしまいます。派遣会社がなかったころは、このようなことはなかったのではないかと思います。今から5、6年ほど前の事だったと思いますがその頃派遣会社がたくさん出来ました。学校を卒業後、就職先がなければ派遣社員にいくつも登録をしておけばどこから仕事に来るであろうという考えを持つ安易な人も多くいたようです。

しかしここへ来て、会社は大変な状況になってきました。これから先の世の中がどのように変わっていくのか不安に思います。しかし、派遣会社がある以上はこの状況は続くだろうと予想します。

幹事報告

加納裕幹事

- ・1月20日(木)は第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)を開催致します。
- ・1月20日(木)13時40分よりヒルトン名古屋4階「竹園の間」にて第2回クラブ奉仕協議会を開催致します。

出席報告

高木元明出席委員

会員66名 出席48名(出席計算人数52名)

出席率 78.7% 1月 6日は補填により 90.3%

ニコボックス

高木元明ニコボックス委員

- ・1月11日は家内の誕生日でした。お花をいただきありがとうございました。又、1月27日は私の誕生日です。
野崎 洋二さん
- ・1月2日妻の誕生日でした。お花をありがとうございました。皆様おめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。
大島 浩嗣さん
- ・今月は家内の誕生日です。
渡辺喜代彦さん
- ・今月は誕生月です。
吉木 洋二さん
- ・明けましておめでとうございます。1月8日女房の誕生日、きれいなお花をありがとうございました。
長坂 邦雄さん
- ・明けましておめでとうございます。昨日は大嶽さんにお世話になりました。
鈴木 淑久さん
- ・ロータリーバッジを先週なくしました。
八木沢幹夫さん
- ・熱田神宮参拝の折、大川さん、吉木さんにお世話になりました。
山田 鎮浩さん
- ・2月6日コンサートホールでバッハのミサ曲口短調を歌います。聴きに来て下さる方にはチケットを差し上げます。
平野 好道さん
- ・本年もよろしく。木火土金水(もっかどごんすい)に注意して。
江口 金満さん
- ・本年もよろしく。
岩田 吉廣さん
- ・寒くなってきました。
内田 久利さん

1月お誕生日おめでとう

天野 正明さん	稲葉 徹さん	高木 元明さん
杉村 健二さん	田中 英雄さん	市岡 正蔵さん
岩田 修司さん	吉木 洋二さん	本多 清治さん
落合 諭さん	野崎 洋二さん	

委員会・同好会報告

ゴルフ同好会:堀慎治さん

「日本ロータリー親睦ゴルフ大会 沖縄大会」が開催されます。2月11日(金)まで申し込みを受け付けております。

「第一回大洗大会」が4月に開催されます。1月31日(月)まで申し込みを受け付けております。

どちらも事務局に資料をおいてあります。

出席委員会:亀井直人委員長

本日メールボックスに上期の出席状況の報告書を配布致しました。ご確認ください、訂正がございましたら事務局までご連絡ください。

卓話

会員(会長エレクト) 高須洋志さん

地区出向の5年



この地区で毎年350名程の新会員がいらっしゃいますが、それを上回る退会者ができています。退会者は年に450名程度です。マイナス100名になります。このような状況が10年ほど続いており、一時期6,400名いた会員が現在は4,900名を切っています。経済情勢や個人的な事情、健康問題などもありますので退会される事については問題だと思っておりますが、退会をされた方がきちんと「ロータリー理解」をされた上でお辞めになっているのかが気になっています。

理解されないまま退会をされますと、ロータリーに対して否定的な見解を持たれることもあるかと思えます。退会者の多くは3年未満で退会をされています。退会された方に直接聞いてみますと「RCに指導性がない」「活動に魅力を感じない」「仲間が出来ない」というような声がありました。ロータリーをきちんと理解し馴染んで頂くためにはある程度ステップが必要なのかも知れません。本日は私の実体験を踏まえてそのあたりをお話したいと思います。

RCは世界で約120万人の会員がいます。これをもしひとつの会社だと考えると、国内にいただけでは会社の全容はわかりません。本社の機能への理解も必要でしょうし、時には海外勤務も必要かも知れません。このように考えるとRCへの理解が難しい事が分かると思います。当然1年や2年ではRCを理解する事はできないでしょう。それではどのようなステップでRCを理解して頂いたらいいのでしょうか。

私がRCへの誘いを受けたのは18年前です。その頃はRCに対して具体的なイメージを持っていませんでした。入会時に詳細資料をいただきざっと目を通したのですが残念ながらその時もあまりよく理解が出来ず、例会時に打つ鐘や皆で起立しての斉唱も変わっているなという印象を持ちました。

しかし3年程経ちますとロータリーソング「我等の生業」が体にしみこんで来たのを感じました。自分たちの職業を通して何かを目指している団体だという事をおぼろげながらに理解し始め、感動で例会の時に涙が出そうになった事がありました。5年目になりますと、さらにRCの中の事が見えてきました。この頃「RCの全体像がなかなか分からない」という話が上がった時に私は、むし

ろ年ごとに少しずつ分かってくるのが良いのかもしれないと答えました。マニュアル化されたものを短時間で理解してもそれはなかったようなつもりになるだけでRCの本質にあわないのではないのでしょうか。5年、10年経って見えてくるものがきっと本物ののだと思います。

10年目になり幹事を務めさせて頂く事になりました。毎年つくられるCLUB計画書の冒頭にはロータリーの綱領と四つのテスト、巻末には定款と細則が載っております。私は恥ずかしながら幹事になり初めて定款や細則にきちんと目を通し、改めてRCについて理解した事がたくさんありました。

退会者の多くは経済的事情や健康の問題でしょうが、残念ながらRCに対して魅力を感じないという意見があるのも事実です。RCへの理解の早さは人それぞれだと思いますが、3年や5年で辞めてしまわれた方は一体どれほど理解できたのでしょうか?3~5年でRCの事ある程度理解して頂かないとRCに対して魅力を感じる事は出来ません。会員の皆様の理解が進むためにはクラブとして早めのフォローが必要です。また会員の中で理解があやふやな方にもしっかりと理解して頂くために勉強や研修する機会が大切なのではないかと考えます。

私の話に戻りますが13年目に地区のローターアクト委員会に向かいました。地区というのはRIという世界的な組織とクラブを結ぶ中間の位置にあり、運営のガバナーが得た情報を地区の委員会で紹介し、それを各クラブに伝えるという役割をしています。それまではクラブの事しか見えていなかったのですが、ローターアクト委員になり、より広い目でRCを考える事が出来るようになりました。

このように入会後クラブ内の主だった委員長や幹事を経験し、地区へ出て、できれば会長を務めるというようにステップを踏まれる事がよりRCへの深い理解につながっていくでしょう。私も一年一年ベールをはがしていくように理解していったので、今よく分からないという方も心配せずどうぞステップ・バイ・ステップで理解して行って下さい。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」というのは、クラブでロータリーの精神を学び、家庭や職場・地域社会に奉仕せよというロータリーの精神です。「親睦と奉仕」はよく車の両輪という言い方をされますがそれよりも自転車の前輪と後輪のように、後輪であるクラブライフに押されて地域にでて行って頂きたいと思います。

一生は一度ですので、自分で自分を制限してしまうのではなく何事も全力投球で臨んで下さい。

例会のご案内

■今週の行事 1月20日(木)

第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

■次週の卓話 1月27日(木)

会員卓話:大嶽達郎さん

テーマ:台湾の建築

■次々週卓話 2月3日(木)

卓話講師:紺野治療院 鍼灸マッサージ師
紺野哲生さん

テーマ:身体が楽になるスイッチ
(セルフマッサージ編)